

日 時 平成 30 年 7 月 13 日 (金) 午後 3 時 15 分～4 時 30 分

場 所 横須賀市教育研究所 第 1 研修室

1 開 会

事務局

本日は大変忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。この会議は「条例」第 4 条の規定に従い、半数以上の委員の出席により成立いたします。本日は 21 名中 19 名の出席をいただいていますので、会を始めさせていただきます。

2 教育指導課長挨拶

事務局

教育委員会 教育指導課長より、ご挨拶させていただきます。

教育指導課長

お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。

本日は、7 月 27 日の教育委員会に提出する調査報告の作成をお願いいたします。今回、目録に掲載されている教科書の中から、全日制 (663) 種、定時制 (512) 種を調査対象としていただきました。このような膨大な数の中から限られた時間で横須賀総合高校の生徒にもっともふさわしい教科書を調査する作業はとても大変なものであったと思います。改めまして調査部会員の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

また、第 1 回目の会において、採択基本方針の確認をいたしましたが、再度、公正確保と綿密な調査に基づく採択原案作成へのお力添えをお願いいたしまして、私の挨拶といたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 専門部会長挨拶

部会長

(あいさつ略)

4 会議の進行について

事務局

一覧表の網かけは平成 30 年の検定により、新版となった科目、もしくは従来使用していた教科書を変更する科目です。ご確認ください。「新規」の教科書のみを回覧します。

ご説明につきましては作成していただいた教科用図書一覧表の通し番号順をお願い致します。

全・定ともに 13 教科ですので、科目の少ない教科は時間を短縮して説明いただければと思っております。工業・商業の教科については、1 科目ごとの説明をしていては時間が足りないので、まとめて特徴的なもののみ説明していただければと思います。目録を回しますので、全日制は黄、定時制は青のマーカーのついている、選んでいただいた教科書を教科でもう一度確認をお願いいたします。それでは調査報告に入ります。ここからの進行は部会長をお願いいたします。

5 調査報告（採択表に基づき各科目ごと報告）

部会長

それではみなさんよろしく願いいたします。次第に沿って進めていきますが、今年度も、定時制から全日制の順で行います。定時制の先生はこれから授業がありますので、15分ほどで説明していただきそのあと質疑等を取りまして確認できた段階で退席ということになります。全日制はこの次第の順番で各教科3分以内でご説明いただきたいと思います。それから説明につきましては事前に出していただきました選定理由書に沿いましてお願いしたいと思います。ここで取りまとめましたものを次の会に持っていきます。4時半には終了するよう協力をお願いします。それでは定時制からお願いいたします。

（1） 定時制

調査部員

定時制は新規に選定した地図、数学Ⅱ、経済活動と法。まずこの3つについてご説明し、そのあと継続のものを一括で説明をいたします。ではまず地図からです。今回新しく新詳高等地図というものを選んだ理由としては、「基礎・基本の確実な定着を図る」という本校の学習指導目標に照らして何よりも子どもたちが興味・関心を持ってもらいたい、というようなことから視覚的にも主題図や統計資料が豊富でありますのでそこからも選ばせていただきました。何よりも中学校、特に横須賀市の中学生が多いので、その中学生が使っていた慣れ親しんだ地図帳とのつながりが最も感じられるものであり、親しみやすく学べるということです。子どもたちがこれから先、主体的に学べるような状況にしたいと思いこちらの地図を選ばせて頂きました。続けて数学Ⅱの新規の理由について説明させていただきます。こちらの教科書は本年度使用している教科書のリニューアルバージョンとなっております。選定理由は主に3点あります。1つ目は例題と問題番号が一致しているなど、学習のしやすさがより向上した点、2つ目として記述内容がより明確になっている点、3点目は例題や問い、確認問題のバランスや難易度に適度に幅を持たせている点がすぐれているということで選定したと数学科から伺っております。続けて、経済活動と法について説明させていただきます。こちらについても今年度使用している教科書のリニューアルバージョンです。こちらについても選定理由が3点ほどございます。1つ目が高校生に対する内容の分量が適切である点、2つ目が興味関心を持たせ探究心を育むような構成の工夫がある点、3つ目が難解な専門用語を生徒に理解させやすく工夫されている点、これらが優れているということで候補の中から選定したと商業科から伺っております。最後に継続のものになります。こちらについては、本校の教育方針である「基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得」「知識技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育む」3つ目として「生徒が主体的に学習に取り組む」これらを基にして昨年度採択した者を今年度使用しているのですが学校目標に合致しそれらの力が育まれるということで特に問題がないということで継続ということで選定したと伺っております。以上になります。

部会長

よろしいですか。15 分ほどということでしたが。去年と継続の者が非常に多いので、特に大きく変わらなかったということが説明時間の短縮につながっていると思われます。

今の説明を聞いて、検討委員の皆さん、全科目いっぺんにとりたいと思います。質問等、ございますでしょうか。

検討委員

今の説明でわかったのですけれども、地図の「中学で慣れ親しんだ」という記載がありましたのでこれを読んだときに一瞬手が止まったのですね。横須賀市の中学校でという意味なのだろうなと思ったのです。その通りの説明がございました。ただ、横須賀市以外からの生徒も在籍をしているのでこのところをあまり強調されますと、単純に中学校からの継続でよいのかという話になってくると思うのですね。ただ、前段のところで目録掲載 8 冊を詳細に検討され、さらに 4 冊を詳細に検討されていますので、記述変更等は必要ないかと思います。ただ、この部分をあまり強調しすぎると、きちんと検討しているのかという話につながりかねない記述になってしまうので今後一工夫されるとよいのではないかと思います。

部会長

はい、ありがとうございました。どうでしょうか。他の教科書で質問等ございますか。

検討委員

これでよろしいと思います。

部会長

よろしいですか。ちょっともう一回まとめさせていただきます。新規の教科書の内 2 つについては現在使っている者のリニューアル版ということで、基本的にはコンセプト構成についてはかなり踏襲している者なので大きく言えば継続的な要素が非常に強い昨年度選択した理由がそのまま申し送られているというところで選定されているという解釈でよろしいですか。地図についても理由は分かりましたが、先ほどご意見いただいたように、横須賀市以外の生徒が何を使っていたかの説明もなかったと思います。ただ、そうでない生徒にとっても使いやすいといった標記もございますので、その辺のところで分かります。また、定時制については全日制と比べて学習時間、帰りが遅いということで通学し地域がかなり横須賀の中にいる生徒が多いということがあろうかと思いますが、確かに委員の指摘の部分はあろうかと思いますがその辺は次年度に生かしていただければと思います。

よろしいですか。

では、全体的には基礎基本を理由に選定理由書かれている教科が圧倒的に多かったかなと思います。その中で、基礎基本を定着させるために、内容を理解してほしいということから「〇〇しやすい」といった標記が多かったと思います。その辺のところも学校の指導目標に準じて選定されたのかなということが伺えます。

それではその他ご指摘ございませんので、この通り検討委員会に持っていきたいと思います。

では定時制の先生方、以上で終わりますので退席して結構です。

引き続き、全日制に移ります。次第の通りに進めていきますが、質疑につきましては最後に一括でとりたいと思います。3分以内で。教科によって違うと思いますが、一つの目安としてお願いいたします。では、国語科からお願いいたします。

(2) 全日制(選定理由書を基に、教科ごとに説明)

- ① 国語 ② 地理歴史 ③ 公民 ④ 数学 ⑤ 理科 ⑥ 保健体育
- ⑦ 芸術 ⑧ 外国語 ⑨ 家庭 ⑩ 情報 ⑪ 工業 ⑫ 商業
- ⑬ 福祉

各調査部員

①国語総合では、定番教材と新教材がバランス良く配置されている。生徒の興味関心を引く。現代文では読解のポイント、評論と小説の読解のポイントもございます。定番教材では羅生門、新教材では俵万智の教材をきっかけとして読む、話す、聴く、書くまで考えているというようなところから本年度と継続の教科書を選びました。現代文Bでは高校生が直面している問題を扱う単元がたくさん含まれている。例えば明日を開くというところで言いますと迷う力の素晴らしさ、情報化時代に合ったもの、定番教材も充実している。いろいろな視点で高校生にアプローチできる。古典Bについては、見開き基本で見やすい。幅広い分野の学習ができる。また、第一部と第二部と別れており、難易度もバランスよい。付録の充実で作品に対する生徒の理解がさせやすい等の理由から選定させていただきました。すべて継続になります。

②世界史Aでは写真、地図、図解等の資料が本文と適切に関連しており、大きく見やすく配置されている、資料との関係性にも工夫がある。世界史Bは歴史的な因果関係を理解できるように分かりやすい記述がされている。日本史Aは歴史に関する興味・関心が高められるように編集記述等も工夫されている。日本史Bは歴史地図等、理解を助ける工夫がされている。コラム内容が細かく理解させやすい。地理A、地理Bともに図版写真資料が見やすい。地図は、見やすさは勿論、発展的な学習ができるように工夫されている。すべて継続です。

③まず現代社会です。今年度も使用しているものであり、使いやすさと内容の確かさが分かっているので引き続き選定した。倫理、政治経済についても、内容が簡潔にまとめられており使いやすく、昨年に引き続き選定した。

④数学ではⅠA、ⅡBにつきましては今年度と継続、数学Ⅲは改訂版を選びました。まず数学Ⅰでは例→例題→応用となっており、教材が充実している。数学Ⅱでは公式や定理の説明が分かりやすく配列の工夫ある。特に三角関数の加法定理では証明と練習問題のつながりが高く評価できた。新規となります数学Ⅲの改訂版となります。公式の横に図形が示されており、視覚的に理解できるようになっており、コラム等も充実しているなど、数学本来の楽しさを味わえる等のことから選定いたしました。数学Aは課題学習が16設けられている。生徒の関心を高めることができると考えました。数学Bでは階差数列のところでは表が載っており、それを利用することで新たな発見や数学の楽しさを実感できる構成となっております。

⑤まず科学と人間生活から。学校の教育目標と教科の目標を念頭に選んだ。適所に配置されている発展を適宜発展的な学習ができる分量・レベルであること、図や写真が見やすい。物理基礎は、節末問題が豊富であり解答の開設も充実しており、自学自習しやすい子のなどがあげられる。物理は、多くの実験を紹介、身近にみられる物理的事象を基本的概念や原理法則を理解させるという考え方に立っており、学習の展開が必然性をもってつながる宵に配慮されている。基礎から発展までバランスよく扱っている。化学基礎は、生徒の学習段階に応じて効率的な授業展開ができる点と学校の教育目標等との整合したものであること。化学は基礎から発展までバランスよく取り上げられている。生物基礎、生物ともに、各単元が簡潔で的確な分量でコンパクトにまとめられており、参考や発展問題と本文のつながりが良いこと等から選定した。地学基礎は、基本的概念など、十分に引き上げられていること、事象を実生活で意識できる題材が盛り込まれていること等から選定した。

⑥保健は、昨年度と継続。保健の目標に基づいて選定した。見開きで1単位にまとめられており、学習課題が適切に設定されている。考えてみようのコーナーは、主体的、対話的な活動につながりやすい作りになっております。

⑦音楽Ⅰ・Ⅱからですが、小中からの学びの流れがよくとれていること、生徒の実態に配慮し、さまざまな音楽に親しむという本校音楽科の趣旨に合致するものであります。音楽Ⅲですが、童謡の弾き歌いが充実している、音楽Ⅲまでとる生徒というのは音楽系、教育系の学部に興味を持っている生徒が多いです。そういった生徒に力をつけていくという意味でも、また生徒の主体的な学びとして少人数で鍛えあいながら奏する音楽を磨いていくという意味でもこの教科書が最適であろうと判断いたしました。

美術Ⅰは、バランスよく各分野を網羅している、図版写真も他者に比べて多く、色合いも美しい。制作過程の資料や技法表現の解説なども実際の授業で参考になるものである。書道Ⅰ図版が豊富で美しい。中学からのつながりを意識した教科書である。図番が半紙と同形という政策と学習のしやすさを第一に考えたものになっています。書道Ⅱは参考となる資料が掲載、学習が豊かに効果的にでき、Ⅰからの発展した内容を学ぶ上での比較となる図版が多く掲載されている等から判断した。書道Ⅲまで選ぶ生徒は人数としては少ないが、仮名の書、漢字、仮名交じりの書に非常に強い関心があるという本校の生徒の実態からこの教科書を選んだ。生涯、書に親しむ態度へとつながる、学習指導要領の内容とも一致することから選定しました。

⑧コミュニケーション英語について、読解のスキルを通して、読む書く理解表現するという総合的な力を育むのにふさわしい。英語科の目標にも合致している。特に読解能力に関して、掲載されている読み物が生徒の意欲を持たせる内容になっており、語彙も多く使われている。学びながら目標を目指せるという作りになっているところを評価し、選定しました。英語表現Ⅰ・Ⅱで選んだ教科書は、文法と会話というようにパートⅠパートⅡと分れているが、文法の積み上げと会話表現がお互い関連性を持たせながら学習を深めていくことができるという生徒にとっても効果的な教科書であります。最後に英語英会話です。構造的なものではなくすべて場面

シラバスとなり、一般教養として英語を学ぶ生徒にとっても使いやすいものである。例えば、海外旅行などの場面等を取り上げ実践的に学べる作りになっています。

⑨家庭基礎では、図表で分かりやすい。チャレンジの項目は思考判断につながる。子どもの発達と保育は、本校の保育園実習に生かせる項目が充実している。また、本校で実施する保育実習に向け系列立てて掲載されているなどから選定した。ファッション造形基礎は比較対象はないが基礎的な技術発展的に学べるような構成になっていることから選定した。フードデザインは、食品の実験が多くといわれていること、テーブルコーディネートがある、巻頭巻末の資料が充実していることから選定した。

⑩社会と情報では、いずれも継続。本校の指導目標に合致しているかの視点で選定した。ネットワークシステム、情報の表現と管理はいずれも比較対象がないので内容を慎重に検討した。例題を図で示しながら解説しているので理解しやすく、段階的にわかりやすく構成されている点などから評価し選定した。

⑪製図では例題が適度に取り入れられ、生徒の理解がしやすい。幅広く工学全体の製図を学ぶことができる。機械工作では、写真や図が豊富で見やすいもの、自動車工学は、各単元の並ぶとつながりが適切であること、例題が豊富であることなどから選定した。電子機械は写真や図が豊富で見やすいこと、建築構造は構造について理解しやすい図がついていることなど、建築計画は図が大きく写真が豊富、事例が多く紹介されていることで理解させやすい。デザイン技術は専門的なことがよくされている。各単元の内容も活用しやすく本校の生徒に適しているということで選定した。デザイン史は、専門用語について非常にわかりやすく解説されている、詳細に注釈があるなど、生徒が理解しやすいと判断した。

⑫ビジネス基礎はビジネス的な思考力を深めることを重視している。イラスト写真が多くイメージしやすい。マーケティングは章末の特集や資料の新しさ、マーケティングの概要を理解させやすい工夫がされていること。簿記、財務会計、原価計算は、中学校ではなかった科目なのでイメージのしやすさが一番の選定理由。視覚的にもイメージしやすく、自分で勉強するときにも役立つものである。情報処理は、章末のまとめがあり調べやすいことや、コンピューターの画面図もあり、それと見比べてつまずきのチェックができる点などから選定した。

⑬社会福祉基礎からところとからだの理解まで、すべて継続です。用語や説明文が明確でわかりやすく、グラフィラスト等も豊富に取り入れられているなど、学習内容が深まるように工夫されています。本校生徒が興味関心を高めながら知識や技術を習得していけると考え選定しました。

6 質疑応答

部会長

これで13教科終わりましたが、説明の中で言い落した部分はありますか。では再度質問等を受けますが、ここまでの確認をします。新規のものは3点ありました。数学Ⅲと音楽Ⅲ、コミュ

ニケーション英語Ⅲでしたが、それぞれもともとあったものをリニューアルした、そういう内容でしたので昨年度の教科書を踏襲、継続的なといったことでよろしかったかと思います。それからフロンティア研究や各教科の目標に沿ったものを選定理由に挙げていた教科も非常に多かったかなと思います。質問意見ございますか。

検討委員

3点お願いします。選定についての疑義ではなく、意見ということでお聞きください。1点目ですが本校生徒に適した・・といった記載が非常に多くみられました。その前段の文章から意味するところはおおむね読み取れるのですが読み取りにくいものもあった。例えば多様な進路に進む、学力差に応じられる そのような表現を工夫されてはいかがでしょうか。今日の会に参加するにあたり、学校のHPを見てきました。全日制の評価アンケートの中にレベルの高い授業を求めている記載があり、それについて学校から教科書や教材の検討をしっかりと行うという回答があった。生徒の実態を同学校が認識されていることは先生方にしてみればわかりきったものかもしれないが、言葉にして共有化しておくこともこれから総合高校がよりよい授業をしていく上では必要なことではないでしょうか。そのように思いました。2点目は、教科書選定とは離れてしまうかもしれませんが、道德教育について、先生方とお会いする貴重な機会です。意見を述べさせていただきます。高校では教科になっていませんが、教育活動全体で様々な工夫をして取り組んでいただきたいと思います。市総合の学校目標の中にも自己理解、他者理解は重なる部分があり、ぜひ教科の中での取り組みもお願いしたいと思います。県でとりくんでいるいのちの授業についてのパンフレットも参考にいただければと思います。3点目は一部誤字脱字があったので、教育委員会に提出されるときには訂正したほうが良いと思います。ですので後で事務局に伝えたいと思います。

部会長

はい、貴重なご意見ありがとうございました。ほかにいかがですか。

検討委員

伺っていいですか。自分はこれをぱっと受け取った時になかなか読み取ることはできないのですが、新規のものは少し読んでみようと思い見てきました。前の年に使っていたものとどんな違いがあるのかと思っていたのですが、部会長から最後の説明をしてもらうまでは、改訂版ということがわからなかった。新しく変わるものはどのようなことでかわるのかな、前の教科書は教えにくかったのかなと思っていたのですがそこらへんは改訂版で変わったということが先ほどの部会長の説明でわかりました。それから、素人の単純な質問なのですが、日本史A日本史Bってなぜ分けているのですか。どういう違いがあるのですか。

調査部員

日本史Bは先史時代、大昔から、日本史Aは近代からです。

採択委員

受講する場合は？

調査部員

選択です。学年ではなく。2年生、3年生が、自分で選択するものです。日本史Bは通史ですのでセンター試験などではAよりBの受験生は多いし、試験科目になっている場合が多いです。

採択委員

世界史なども同じですか。

部会長

補足ですけれども、全国の高校生、世界史Aか世界史Bのどちらかを取らなくてはならない。違う科目なんですね。日本史AB地理ABの4科目からどれか1つを取らなくてはならないことになっている。本校ではすべてのABの科目を選択の中に置いて、2、3年のどちらかの年次で日本史、地理から1、世界史から1取りなさいということになっております。

検討委員

科目が違うと考えてよろしいのですね。

7 答申内容の原案決定

部会長

では、再度確認いたします。新規科目は教科書会社のリニューアル版であるので昨年度の継続的な新しい教科書という意味合いでよろしいかと思います。選定理由に多く出てきた「バランス」ですが、難しいものと優しいもののバランス、定番と新たなものの基礎と発展など、多様な進路に対応するためにそういう選考理由にしているのかなと思いましたが、やはりその中には抽象的な表記もあったので、先ほど検討委員からいただいた意見のように、わかりやすく工夫する必要があるのかなと思いましたが、また、興味関心、知的好奇心の喚起についても多く出てきたキーワードと思いますが、フロンティアテーマの自学自習の精神の確立につながる、そういったねらいをもって選定したのかなという印象を持ちました。

それでは、この内容をもって検討委員会に報告してもよろしいでしょうか。

では、私の進行はここまでといたします。あとは事務局お願いします。

8 閉会

事務局

本日まで調査報告等作成をしていただき、ありがとうございました。なお、皆様の任期につきましては8月31日までとなっており、情報公開されるまでは、委員の名前や審議内容も含め部外秘ですので、十分お気を付けください。今後7月27日の定例会に向けて、調査報告について再度ご質問させていただくこともあるかもしれませんので、宜しく願い致します。

閉会后、16:35～第1研修室にて採択検討委員会を行います

平成31年度使用 教科用図書採択検討委員会 専門部会＜特別支援教育＞〔議事録〕

日 時 平成30 年7 月13 日（金）午後 3 時30 分～ 4 時30 分

場 所 横須賀市教育研究所 会議室

1 開 会

事務局

本日は大変忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。この会議は「条例」第4条の規定に従い、半数以上の委員の出席により成立いたします。本日は全員の出席をいただいておりますので、会を始めさせていただきます。

2 挨拶

教育指導課長

お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。

本日は、7月27日の教育委員会に提出する調査報告の作成をお願いいたします。特別支援教育では、個々のニーズに合わせた教科書の採択ということで、調査をするのはとても大変な作業であったと思います。

改めまして調査部会員の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

また、第1回目の会において、採択基本方針の確認をいたしました。再度、公正確保と綿密な調査に基づく採択原案作成へのお力添えをお願いいたしまして、私の挨拶といたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 挨拶

部会長

（あいさつ略）

4 会議の進行について

事務局

各学校調査部員より採択希望報告、質疑、答申内容決定という流れで進める。

5 調査報告

部会長

これより審議を始めます。次第にあるように養護学校小学部・中学部、ろう学校小学部・中学部・高等部、特別支援学級小学校・中学校の順で行います。

調査部員の先生方、調査概要の報告をお願い致します。

（1）養護学校 小学部・中学部

調査部員

小学部・中学部について

肢体不自由と知的障害を併せ持つ児童・生徒が通っているため、重度重複障害、医療的ケアの必要な子どもたちもいる。教科書の採択の方法としては、本年度配布された教科書を校内で展示して教員に見てもらい、決定した。一般図書一覧表も参考にしている。教科書の採択の方法

としては、実体験をしながらの学習が効果的な子どもたちが多いため、色、音や触覚が感じられる本を選んでいる。言葉も平易で繰り返しの多いものを選ぶようにしている。

〔質 疑〕

部会長

評論社の仕掛け絵本「コロちゃんはどこ」という本の総評で、「各ページの仕掛けが面白く、児童がそれをめくりながら興味を持つことができる。」とあるが、どのような仕掛けなのか教えてほしい。例えば立体的にポーンと飛び出すとか、別の仕掛けが開くとか、イメージを教えてください。

調査部員

大変申し訳ないが、子どもの実態に合わせて各担当が書いたものを、そのまま書いたため、即答できない。後日、改めてお答えしたい。

〔意 見〕

なし

(2) ろう学校 小学部・中学部・高等部

調査部員

小学部・中学部について

来年度の重複障害の児童・生徒は小学部4名である。新3年生が1名、新5年生が1名、新6年生が2名である。ろう学校の子どもの人数は少ないが、一人ひとりの実態は違っている。また、子どもの力は毎年変わっていくため、どの本を選んでいくのかについて、毎年担当になった先生は思案している。各担当者は子どもにどんな本が合っているか、毎日の授業を進めていく中で常に考えている。適していると考えられる本を、その都度メモするようにしている。また、教科担当者と密に意見の交換も行っている。このような取り組みを行うことで、一般図書の中から子どもに合った本を選択している。選択の際、教科書展示会で展示される本だけではなく、ろう学校がこれまで選択してきた本が多数校内にあるため、それも参考にしている。6月に行われる教科書展示会で展示される本は、実物を見ることができるため、選択においてとても役立つが、残念なことに、数が少なく、新刊も物足りない状態なので、いろいろなところから本を選択した。選んだ本はその子どもだけで使うのではなく、回し読みをしながら学校全体で使用している。

中学部も小学部と同じような状況で選んでいる。中学部の生徒は新3年生が、来年度は1名の予定である。小学部から在籍している生徒なので、同じような形で子どもの実態と成長に合わせて本を選んでいる。

高等部について

今年度は該当する生徒が在籍していないが、これらの教科書は単一障害の生徒が使用する教科書である。昨年度は、高等部の教科書で改訂版が多く出たが、今年度は改めて本校の生徒にふさわしいものは何かということで、各教科の先生に教科書展示会に行ってもらい、比較検討して、聴覚障害による情報の不足を補えるような図や表の充実した教科書を選択した。

〔質 疑〕

なし

〔意 見〕

なし

(3) 特別支援学級

調査部員

小学校について

著作本については国語が2冊、算数が3冊、9条本である教科用図書については、国語と書写が合わせて16冊、算数が14冊であった。国語と算数ともに「ゆっくり学ぶ子のための」という同成社のシリーズが多かった。児童の実態や理解力に応じた内容というところが書かれており、具体的に言うと、挿絵がわかりやすいとか、段階的に内容が構成されているという点が、特徴として挙げられている。無理なく取り組めることが良いとも書かれている。理科・社会は合わせて8冊であった。こちらは絵が見やすいこと、また簡潔な表記等が評価項目に挙がっており、視覚的効果が高いものが、高い評価を得ていると思われる。技能教科（音楽・図工・家庭科・保健）は合わせて9冊であった。こちらは「日常生活において」というのがキーワードになっており、よく使う事柄が多いものが選ばれているという特徴があった。

中学校について

今回は基本的な読み書きと計算ということに対して、小学校と同様に国語と数学についての採択の数が多かった。また9条本も多くなっている。採択に伴い、私たちが意識したことは、それぞれの子どものニーズに合わせ、様々な手法を使った配慮があるもの、例えば文字の大きさ、字体、そしてイラスト、強いては色使いといったものについても考慮されていると思う。また文章の量が多いが、文章の読みやすさということにも配慮がされている。例えばその本を読むだけではなく、そこから自ら考えて経験をして、そして日常生活の各場面で活用できる、そういったアプローチができるかということも大切であると考えて採択した。また、今年度から道徳についても特別支援学級に合わせたものが採択された。

〔質 疑〕

委員

小学校国語科「スカーリーおじさんの働く人たち」の総評の中で「文章を読むことが苦手な児童が、楽しみながら読書をすることができる」とあるが、具体的にどのように楽しめるのか。

調査部員

私も、実際に教科書を手に取っていないため、内容について具体的に答えられないが、同じシリーズの本から推測すると、文章、文字自体の理解が難しい児童のために、漫画的なキャラクターの挿絵と絵の構成が非常に親しみやすいようになっていると思う。その中から、継続的に学習できるように、内容が工夫されていると思う。つまり、文字の代わりになる絵、構成や展開によって楽しむことができるようになっているのが特徴だと思う。

委員

それによって、文章の内容を理解していくということか。

調査部員

そこに補足をして、「では、これは何を示しているのだろう」といった時に、子どもから、「乗り物」とか「おじさん」というものに結びつけていくことができるような展開であると思う。

部会長

小学校算数でも、「算数の苦手な児童も楽しんで学習できる」という本は、今の国語と同じように絵とかイラストとかで、それを見ながら算数の足し算なり引き算を、その子の学年に応じて、その絵を通して楽しみながら学ぶというイメージでよろしいか。

調査部員

はい。この教科書は、おそらくお子さんの実態に合わせた具体物というか、乗り物が好きな子だったら、乗り物系の挿絵がいっぱい入っているもの、動物が好きななら動物、食べ物が好きななら食べ物といった、それぞれの好きなものに応じた具体物を使って数に親しんでいくことができるような教材の作りになっている。

委員

中学校はかなりイラストを使った本が多いと総評を読んで感じたが、その辺りは意識して選んでいるのか。

調査部員

先ほど申し上げた通り、いろいろな個々のニーズというものがあり、イラストによって、問題を解く時にも、そのイラストが手助けになり、興味づけがスムーズになる等、ナビゲートのとても優れているものがたくさんあると思うので採択に入れた。また、先ほど申し上げた色彩というものは、子どもたちに敏感に影響するものだと思う。例えば赤ばかりの色彩だと刺激的なものになってしまう。やはり同じ色ばかりではなく、いろいろな色から入っていき、文章やそういったものを手助けにしながら、楽しんで興味を持って、その教科書を見ることができるということも意識して選択した。

〔意見〕

なし

6 全体を通しての意見

委員

それぞれの学校で選択された教科書であるが、実体験に基づいて学びを行うことができる教科書であったり、それから実際に体験して考えることができる教科書であるとか、そのような教科書が大変多く採用されていると思った。特にDVDを使って、実際に動く動画を見ながら学習できるものであるとか、音が出るものとか、そういうものがたくさん選択されていて、子どもたちの学習に役に立つだろうという感想を持った。

委員

音の出る絵本やカラフルな絵本など、子どもが喜んでよく見るため、教科書として良いと思う。教科書展示会で見かけた本で、ろう学校の教科書に入っていたと思うが、マークやマナーの本があったと思う。車椅子で自走できる子どもには、「止まれ」「ここは行ってはダメ」というマークを教えており、また校外学習でもマーク等が目につくことがあるので、そういう時にも使えると思う。

委員

特にない。

7 答申内容の原案決定

部会長

それでは、この内容をもって検討委員会に報告してもよろしいでしょうか。

(同意)

8 閉 会

事務局

本日まで調査報告等作成をしていただき、ありがとうございました。なお、皆様の任期につきましては8月31日までとなっており、情報公開されるまでは、委員の名前や審議内容も含め部外秘ですので、十分お気を付けください。閉会后、16:35～第1研修室にて採択検討委員会を行います。

平成 31 年度使用教科用図書採択検討委員会 <全体会> 議事録
日 時 平成 30 年 7 月 13 日 (金) 午後 4 時 35 分～17 時 00 分
場 所 横須賀市教育研究所 第 1 研修室

1 開 会

事務局

これより平成 31 年度使用教科用図書採択検討委員会をはじめます。
この会議の議長は条例に基づき、委員長をお願いいたします。

2 資格確認

議長

ではこの会の資格確認を事務局お願いいたします。

事務局

本日の委員会について第 4 条の規定に従い、24 名の出席を得ていますので本会議は成立しております。

3 答申内容の検討

議長

それでは各専門部会の調査内容の報告をお願いします。まずは小学校部会からお願いいたします。

小学校部会長

・小学校

本日の小学校専門部会で調査報告を基に審議いたしました。審議の結果を報告します。
小学校につきましては慎重に検討した結果、平成 32 年度の新学習指導要領実施に向けて
1 年間の使用であることもふまえ、平成 31 年度使用教科用図書については採択原案を現在使用
している（平成 27 年度から平成 30 年度）教科書を候補にすることに決定しました。
以上です。

議長

この調査結果について何かご意見がありましたらお願いいたします。

〔質 疑〕 なし

次に、高等学校の報告をお願いします。

高等学校部会長

・高等学校

本日高等学校の専門部会で調査報告を基に審議いたしました。審議の結果、この一覧表のとおり
調査結果を報告します。
高等学校では新規に変更する教科種目が全日制で 3 者、定時制でも 3 者ありました。
変更する理由についてきちんと説明をいただき、検討した結果お手元にあるとおり決定しま
した。
以上です。

議長

この調査結果について何かご意見がありましたらお願いいたします。

〔質 疑〕 なし

次に、特別支援教育について報告をお願いします。

特別支援教育部会長

・特別支援学校（特別支援学級）

本日特別支援教育の専門部会で調査報告を基に審議いたしました。審議の結果、この一覧表のとおり調査結果を報告します。

特別支援教育におきましては、特別支援学校のろう学校と養護学校、小・中学校の特別支援学級があります。これらにつきましては、児童・生徒の実態に応じて教科書を選んでいきます。対象となる本は「検定本」、文部科学省で定めております「著作本」、学校教育法附則第9条で規定されている「一般図書」の3種類で、この中から採択することができます。

内容についてですが、

ろう学校（高等部）用検定本	38冊
ろう学校用著作本	23冊
養護学校用著作本	2冊
小特別支援学級用著作本	5冊
中特別支援学級用著作本	4冊
ろう学校用附則9条本	30冊
養護学校用附則9条本	105冊
小学校特別支援学級用附則9条本	47冊
中学校特別支援学級用附則9条本	85冊

検定本については、小学校・中学校で採択されたものを使用いたします。

以上報告致します。

議長

この調査結果について何かご意見がありましたらお願いいたします。

〔質 疑〕なし

次に、中学校について私から報告いたします。

・中学校

本日の中学校専門部会で調査報告を基に審議いたしました。審議の結果を報告します。

中学校「特別の教科 道徳」について、「調査部会」と「事務部会」で一致したものが1者、部会で違った候補本につきましては慎重に検討した結果、

「教育出版」及び「廣済堂あかつき」の2者を候補にすることに決定しました。

以上です。

この調査結果について何かご意見がありましたらお願いいたします。

〔質 疑〕なし

それでは、全体を通して、ご意見あるいはご感想を含めていかがでしょうか。

委員

今年は大変暑い中、精力的に見ていただき頭の下がる思いです。ぜひこの結果をもって教育委員会のほうに報告していただきながら子供にあった教科書が採択されることを市民代表として期待しています。これからも皆さんのお力をいただければと思います。皆様方ご苦勞様でした。

委員

お疲れさまでした。初めて出席したのですが、ここまで1冊に対してすごい時間をかけて検討していることが分かった。教科書選びは本当に大変なんだなということを知ることができた。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

委員

私も初めて出席させていただきましたが、教科書1冊でも皆さんでこれだけ議論を重ねていくことにびっくりしたとともに、とてもうれしく思いました。子どもたちを取り巻く課題はいろいろありますがこれだけ一生懸命検討していただける教科書をつかえるということはこれから

先明るい未来があるのかなと思いました。中道徳に関して素人目から見て、どの教科書がいいというよりも先生方が使いやすくていかに子供の心を揺さぶられるか、先生方の力をいかに発揮できるものがあるかということに重点を置いて選ばれることが一番いいのかなというように思いました。

委員

このような形で皆さんで考えていって、子どもたちの学びがより充実いったものになっていくとよいなということを感じました。とともに、これから 10 年後 20 年後を支えていく子どもたちにとって、この教科書を使って学習したことがよりいい方向に結びついていってくれたらありがたいなと思いました。

4 答申内容の決定

議長

ありがとうございました。それではこの調査結果を教育委員会に答申をしてよろしいでしょうか。

特に意義がないようですので、この内容を教育委員会に答申させていただきます。

あとは、事務局の方でお願いいたします。

5 閉 会

事務局

委員長、ありがとうございました。では最後に、教育指導課長よりご挨拶申し上げます。

教育指導課長

熱心なご審議のうえ答申内容を決定していただきありがとうございました。

皆様の報告を聞きまして、教育委員会事務局としましても教育委員会に自信をもって提案していけると確信をしております。先ほど道徳の調査部会の中で、横須賀の道徳教育をどうしていくかという議論がありました。だからこの教科書が良いのではないかという視点が語られたということが心に深く残っております。教師はただ教科書を教えるのではなく、教科書を使って子ども心を揺さぶり、そして何かをつかませ成長させていく。そういった使命を帯びている。そういった意味では今後横須賀の道徳教育をどうしていくかという視点がかけられたということは大変うれしかったです。このことも教育委員の皆様に報告をし、より良い教科書採択ができるように努めてまいります。本日はどうもありがとうございました。

事務局

本日は長時間にわたり、ありがとうございました。なお、本日お持ちいただいた資料やお配りしたプリント類は回収させていただきます。机の上に置いておかえりください。

また、各専門部会でも確認されたと思いますが、皆様の任期は 8 月 31 日までとなっております。情報公開がされるまでは公正確保のため秘密扱いとなりますので、くれぐれもお気を付けください。

本日はありがとうございました。解散いたします。

